

平成30年8月26日
今週のベストショット



雁レク5 塩浜ジャガーズ 対 三苦三球会

二回裏、ホームを突くがジャガーズ道喜右翼手からのナイス送球で堺太一選手をタッチアウト！

写真：三苦ホーネッツ 井手 涼次朗

青松園A 組織力が上回ったのは・・・

レッドサンデーズ (4勝5敗) 30511 10 塚本○、古賀一前田

ソルトベ이스ターズ (3勝6敗) 10000 1 黒崎●、酒井一大門

HR：野口 (ソルト) 3BH：神田、近藤 (レッド) 2BH：近藤2 (レッド)

盗塁：近藤2、塚本、川原 (陸) (レッド) 坂本 (ソルト)

連日の猛暑日の余韻が残る青松園Aグラウンド。早朝でも蒸し暑さが残る中での試合開始。初回レッドサンデーズは、ソルトベ이스ターズ先発黒崎投手の立ち上がりを攻め、デッドボールとフォアボールで出塁したランナーをおいて、四番神田選手の打球はレフトへ。逆光となる見えにくい打球を左翼手が落球してしまう。さらにその後もショートエラーが重なり、相手のミスで3点を奪う。一方ソルトベ이스ターズもその裏、三番野口選手がライト線を破る鋭い打球の本塁打で1点を返す。三回表レッドサンデーズは、一死から二番近藤選手がチーム初ヒットとなる右中間二塁打で出塁しワイルドピッチで三塁へ。続く三番塚本選手の内野安打、四番神田選手の左中間三塁打、五番川原 (陸) 選手のレフト前安打、八番前田選手のライト前安打とタイムリーが続き、一挙5点を追加する。さらに四回と五回に、この日大活躍の二番近藤選手が中心となり1点ずつ追加して、ソルトベ이스ターズを大きく突き放す。追いつきたいソルトベ이스ターズだが、二回以降はレッドサンデーズ先発塚本投手の安定した投球、四回からマウンドに上がった古賀投手の勢いのある投球の前に反撃の糸口が作れない。試合はそのまま10対1とレッドサンデーズの大勝で終わった。この試合で感じたのは、レッドサンデーズの組織力の高さ。八島監督の出すサインを選手が的確に実行して有利な状況を作りタイムリーが生まれるという、チームとしては理想的な試合展開が出来たことによる勝利と言える。(写真・記事：三苦フレンズ 御手洗 文男)



ソルトベスターズ先発の黒崎投手。



レッドサンデーズ先発の塚本投手。



一回裏、ライト線本塁打を放ったソルト三番野口選手。



きっちり送りバントを決める川原（陸）選手。



この日大活躍のレッド二番近藤選手、ただいま激走中！！



綿密なサインを送るレッド八島監督。



華麗にセカンドゴロをさばくソルト真弓選手。



試合後ミーティングのソルトベスターズ、次の試合に期待。

雁レク5 シーソーゲームを制したのは・・・

塩浜ジャガーズ（3勝6敗）001211 5 立石○ー末永

三苦三球会（5勝4敗1分）020200 4 吉留●ー藤澤

3BH：立石（塩浜ジ）藤澤、塚（達）（三球会）

三苦三球会・吉留投手、塩浜ジャガーズ・立石投手で始まったこの試合。初回はお互いランナーを出すも得点には繋がらず。試合が動いたのは二回裏、三球会の攻撃。ランナーを一二塁に置き、七番藤澤選手がしぶとく一二塁間を破り、二塁走者が一気にホームへ生還しようと試みるも、ジャガーズ道喜右翼手が見事なバックホームでこれを阻止。しかし、なおも二死二三塁のチャンスで、八番塚（達）選手が右中間を破る2点適時三塁打を放ち、三球会が先制点を奪う。これで流れは三球会かと思われたが、ジャガーズもすぐさま1点を返し、主導権を渡さない。四回表ジャガーズは一死満塁のチャンスを作ると、石内選手の好走塁と内田選手のタイムリーで更に2点を奪い逆転に成功する。しかし“取られたら取り返す”この試合を象徴するように、四回裏三球会は、二死一二塁の場面で藤澤選手が初球を捉え、逆転2点適時三塁打を放ち、すぐさま逆転。試合は決まったかのように見えたが、このシーソーゲームはこれだけじゃ終わらない。取られた直後のジャガーズは、先頭立石選手がお返しと言わんばかりにこちらも初球を叩き三塁打でチャンスメイクすると、バッテリー間のミスで再び同点。一気に逆転したいジャガーズは続く六回表に満塁のチャンスを作り四番佐藤選手に打席が回る。迎えた4球目、吉留投手のボールが佐藤選手の足に当たり、まさかの押し出しデットボール。意外な形でジャガーズが1点をリードする。このままでは終われない三球会も意地を見せ、土壇場でこちらも満塁のチャンスを作る。ここでバッターは先制タイムリーを放っている塚（達）選手。3球目をライトに会心の当たりを放つが、またも道喜右翼手の攻守で惜しくも得点ならず。シーソーゲームをジャガーズが逆転で制した！（記事・写真：三苦ホーネッツ 井手 涼次朗）



三球会先発の吉留投手。



華麗な守備を見せる三球会三井選手。



二回裏、ジャガーズ道喜選手の好送球で間一髪アウト！



二回裏、先制タイムリーを放つ三球会九番塚（達）選手。



三回表、犠牲フライを放つジャガーズ立石選手。



四回表、好走塁のジャガーズ石内選手。



四回裏、デットボールを受けた三球会四番蓑原選手。



四回裏、逆転三塁打を放つ三球会七番藤澤選手。



六回表、勝ち越しのデットボールのジャガーズ佐藤選手。

奈多グラウンド 泉選手、圧巻の2ホーマーでウインズが競り勝つ！

雁の巣ライナーズ 002001 3 有馬●-明瀬(航)

新町ウインズ 00202× 4 藤田○-今林

HR: 泉2(新町ウ) 2BH: 中口(雁の巣) 盗塁: 明瀬旭2、山本(雁の巣) 安藤(新町ウ)

勝ち点差僅か2で順位を争う両チームだけに共に負けられない注目のカード。先手を取ったのは三回表のライナーズ。先頭の池内選手が内野安打で出塁した後、相手の失策が絡み無死一三塁となる。続く二番山本選手が左前打を放つと明瀬（旭）選手の好走塁もあり2点を先制した。しかしその裏ウインズは先頭の泉選手が右越えの本塁打を放ってたちまち1点差とすると、二番安藤選手が内野安打で出塁後、盗塁を決め悪送球の間に三塁を陥れた。続く四番桐島選手の当たりが相手のミスを誘い、すぐに同点とした。両チーム共に先に次の1点が欲しい中、ウインズの泉選手がとんでもないことをやってのける。五回裏、前の打席に続きこの日二本目となる右越えの本塁打を放ち、ウインズは終盤に貴重な追加点を挙げた。最終回、ライナーズは先頭の中口選手が二塁打で出塁すると六番国崎選手の左前打で1点差に詰め寄ると、さらに相手の失策で一死三塁と一打同点のチャンスとなる。続く七番今林選手が放ったやや浅めの中飛に三塁走者は迷わず本塁に突っ込むも桐島選手の好送球に阻まれ試合終了となった。試合を決めた泉選手の一本目は綺麗な弧を描き、二本目は弾丸ライナーでどちらも惚れ惚れする様な素晴らしい打撃だった。（記事・写真：奈多フェニックス 實延 新伍）



ウインズ先発の藤田投手。



ライナーズ先発の有馬投手。



三回表、先制打を放つライナーズ二番山本選手。



三回裏、つまりながらも同点打を放つウインズ四番桐島選手。



最終回1点差に詰め寄る左前打を放つライナーズ国崎選手。



今日のヒーロー、ウインズ泉選手。

青松園A パイレーツ打線爆発！

和白新町パイレーツ（4勝3敗1分）0 1 1 1 1 1 4 吉田○一大濱
奈多クラブ（6勝2敗）0 1 0 1 2 今林（瑠）●—安河内

HR：八坂（新町パ） 2BH：大濱（新町パ）安河内（奈多ク） 盗塁：今林（賢）（奈多ク）

和白リーグを代表する好投手同士の先発で始まったこの試合は初回、奈多クラブ今林瑠生投手はパイレーツ打線3つのアウトをすべて三振で締める。対してパイレーツ吉田投手もランナーを出すものの要所要所をしっかりと抑え無失点。試合が動いたのは二回表、パイレーツ一番小林選手のタイムリーなどでパイレーツが先制に成功する。追いつきたい奈多クラブはその裏、先頭打者の五番安河内選手の豪快な左越え二塁打などで同点に追いつく。三回表に1点勝ち越しに成功したパイレーツはその裏の守りも三者凡退で締め勢いをつける。すると四回表にパイレーツ打線が爆発する。一番小林選手がヒットで出塁すると続く二番八坂選手、三番白岩選手にもヒットが飛び出し1点を加える。その後好投を続ける六番吉田投手が2点タイムリーを自ら放ち奈多クラブを突き放す。ここで一度は疲れを見せた奈多クラブ今林瑠生投手であったが守備陣からの励ましと自ら気合を入れなおし三振で2アウト目を取る。しかしこの回二打席目二番八坂選手に満塁ホームランを浴びこの回まさかの11失点。その後、奈多クラブの反撃も及ばずゲームセット。奈多クラブ今林瑠生投手はこの試合4イニングで11奪三振を奪うも、味方のエラーなども重なり14失点。まさかの試合結果となった。

（記事・写真：奈多サンデース 野々下 利生久）



奈多クラブ先発の今林瑠生投手。



和白新町パイレーツ吉田投手。



先制のホームを踏む和白新町パイレーツ佐々木選手。



得意のライズボールで空振りを取る奈多クラブ今林瑠生選手。



豪快な一発を放つ奈多クラブ安河内選手。



試合を決める満塁HR、和白新町パイレーツ八坂選手。



満塁HRを放った八坂選手を迎えるパイレーツの選手たち。

第17週編集後記

WSLの皆さん、コンニチハ！

第17週、8月26日は4試合が行われました。

青松園Aのレッドサンデーズ対ソルトベイスターズ戦は、初回からソルトベイスターズのミスによる点が入り、終始レッドペースで進んでいく。レッド二番近藤選手がバント安打、やポテンヒットでも二塁を陥れるなど走力を見せ、軸のタイムリーにつなげ10-1の勝利。ソルトは主力選手の遅刻で相手にキャッチャー道具を借りるなど、試合前から勝負に負けていた感が否めない。

雁レク5の塩浜ジャガーズ対三苦三球会戦は、お互い塁を賑わせるスリリングなシーソーゲーム。ジャガーズ道喜右翼手の活躍抜きでは語れないこの一戦。守備での活躍もあるが、最終回の勝ち越しホームを踏むなど5-4でジャガーズの勝利。

奈多グラウンドの雁の巣ライナース対新町ウインズ戦は、こちらも1点を争うスリリングなシーソーゲーム。ウインズ一番泉選手の2HRなどで4点を挙げ、安打数で上回るライナース打線を3点に抑え3-4でウインズが逆転勝利。この日無安打に終わったウインズ四番桐島選手だが、最終回同点のランナーをホームで刺すなどその強肩で試合を閉めた。

青松園Aの和白新町パイレーツ対奈多クラブ戦は、衝撃な展開となった。2年連続優勝で今年も優勝戦線のトップにいる奈多クラブがまさかの14失点。特にメンバーが揃っていないというわけでもなかったが、それ以上にパイレーツ打線が今林瑠生投手から11安打。三回終わって2-1だったが四回表にパイレーツ二番八坂選手の満塁HRを含む7安打11点。まさかの伏兵に足をすくわれた奈多クラブだが、これで今年のリーグ戦も面白くなった。

8月も終わり少しずつ日も短くなってきたが、まだまだ暑い日が続きます。

残暑を吹っ飛ばすためにも、毎年恒例の「Go! Do! 飲み会」で各チーム交流を交わして、後半戦に臨んでいただきたいと思います。

9月8日(土) 19時~運営会議@三苦公民館

終了後、お迎えのバスで三苦駅経由で「鶴の風」に向かいます。

バスに乗らない方は19:15に現地集合です。

鶴の風 粕屋郡新宮町大字新宮 231-4
092-941-5775

会費 一人 4000円

各チームの参加者名をHP左上の「編集部長へメール」からお知らせください。

第1次締め切りを9月3日(月)とします。